

## 学力・学習状況等の現状を踏まえ、今後に向けて

4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。その結果を受けて、本校生徒の強みと弱みを分析した結果と、今後の学習についてお知らせします。

# 全国学力・学習状況調査(3年)結果

実施された国語、数学の2教科とも全国平均を上回りました。

【無回答率（解答をしていない問題数の割合）について】

- ★ 2教科とも無回答率（何も解答しない問題の割合）が全国平均より低い結果となりました。  
⇒無回答率0（ゼロ）という設問が、国語では60%を占めました。数学では5%ほどでしたが、粘り強く考え、解答しようとする姿勢がうかがえます。
- ★ 2教科とも記述で解答する問題での無回答率（何も解答しない問題の割合）は全国平均より低い結果となりましたが、全国平均との差は選択で解答するものより小さくなっています。

無回答率は、解答しない率なので、低いほど、みなさんが、最後まで解答しようとする意識が高いということですから、良い事なのですよ！

【国語】

平均正答率は、全国平均より1.9%、県平均より3%上回り、無回答率は、すべての問題において全国、県平均を下回っています。無回答率が低いことから、最後まで解答しようという意欲が見られました。

問題形式別にみると、選択式・短答式の正答率は60%を上回っていますが、記述式は50%弱にとどまっています。全国・県平均よりも上回っていますが、全体的に記述を苦手とする生徒は多いと思われます。特に、「話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめること」を問われる問題が最も正答率が低かったです。

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の力は概ねついていると思われますが、特に「書くこと」については、更に力をつけていきましょう。

また、言葉に関する知識を蓄えるために、新聞を読んだり、読書等を積極的に行ったりしてください。



【数学】

平均正答率は、全国平均より 8.5%、県平均より 8%上回り、無回答率は、選択式の問題 1 問以外は、全国、県平均を下回っています。

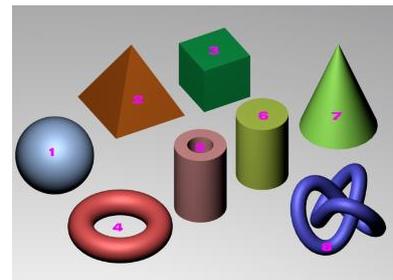
領域別でみると、数と式の単元では、全国・県より 11%上回っており、繰り返し、計算練習していることで、力がついていると思われます。

観点別にみると、思考・判断・表現では、全国・県より 10%上回っています。授業で取り組んだ問題とよく似ている問題が多く、学習したことが定着していることと、自分の考えを記述しようと粘り強く取り組むことができたからと考えられます。

ただし、図形の単元の正答率は 44.8%で全国、三重県同様に正答率が低かったです。他の領域や単元と比べると、大きな弱みと言えると思われます。

「思考・判断・表現」については、日頃から、自分の頭で整理し、考えることを習慣づけしてください。

「図形」については、平面はもちろんのこと、立体図形についても、頭の中でイメージができるように努力していきましょう。日頃から空間認識を意識することで解決して行ってください。



おまけですが、学力向上通信も参考にしてください。

最後に、生徒質問の結果を一部抜粋して紹介します。

質 問 事 項	肯定的な回答 (%)	
自分には、よいところがあると思いますか	三滝中	87.2
	全 国	83.3
将来の夢や目標を持っていますか	三滝中	63.9
	全 国	66.3
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	三滝中	95.4
	全 国	95.7
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	三滝中	96.2
	全 国	95.2
友達関係に満足していますか	三滝中	90.9
	全 国	90.1
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	三滝中	86.5
	全 国	89.8

特に、「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人になりたい」「友達関係に満足している」について、肯定的な回答が高くなっています。

「将来の夢や目標を持っている」について、肯定的な回答が他の質問と比べて低くなっています。今後、将来の生き方を考え、夢や志を持てるように願っています。